

平成 30 年 10 月吉日

JOPA セミナーをご受講される皆様へ

拝啓 初秋の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

2018 年秋からスタートする JOPA 新企画セミナーの 1 つである「四肢マニピュレーション」コースのご案内をさせていただきます。

四肢と脊柱とを「生命」の重要性で比較した場合、解剖・生理学等を学んでいない者でも恐らく 100%の方が脊柱の方が大切と答えるでしょう。勿論、その答えは正解です！ しかしながら、身体の「機能と構造」に対してどちらが重要か・・・となってくると、一概にそうとは言えなくなってきました。その一番良い例が「腸骨のせん断」です。これは、仙骨に対して腸骨が頭側又は尾側に変位している場合を言いますが、この問題の真の原因の多くは、四肢にあり、筋膜の張力を介して腸骨を上方もしくは下方に変位させています。せん断の原因が四肢にある場合、骨盤を矯正するだけでは外力が加わるとすぐ症状が再現してしまいます。ところが、プライマリーである四肢を矯正すれば、せん断は自動的に修復され、骨盤を矯正しなくても症状は再現しません。

また、脊柱の弯曲や内臓の問題に対しても、膜を介して影響を与えます。シーソーでバランスが取れている所に軽い物を乗せてもシーソーは傾きますよね・・・。それと同じことだと思って頂ければ理解して頂けると思います。

勿論、このコースも触診と評価からスタートし、テクニックへと移行していきますので、非常に理解しやすいと思います。

「小さな関節は大きな関節を支配する」 この言葉の持つ意味がどういうことか・・・？ は当コースで学んで頂くと解決するでしょう。

恐らく、「目からウロコ」になると思います。

少々品のない言い方ではありますが、「大穴」のセミナーになることでしょう。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

JOPA 会長 下村 彰慶